

ETAP Technical Report - No. 003

プロジェクト・エディタ Project Editor (Part 2)

前号に引き続き、プロジェクト・エディタの機能について説明します。

4 スタディ・ケース

ETAP は、ひとつのプロジェクトの中に、各計算プログラム毎にいくつでもスタディ・ケースを登録する事が出来ます。この機能は、“Configuration”, “RevControl”, “Loading” 等の機能と組合わせて、無数にいくつでもケーススタディを登録し実行する事が出来ます。

<ETAP 5.0 には、“Study Case”, “Configuration”, “RevControl”, “Loading” 等によるケーススタディの組合わせを一括管理する“シナリオ”というメニューがわかります。>

4.1 作成 “Create New” :

スタディ・ケース “Study Case” のフォルダを開くと、Load Flow, Short Circuit などの各計算プログラムのサブ・フォルダが現れます。例えば Short Circuit のサブ・フォルダを右クリックすると “Create New” が現れ、さらにそれをクリックすると Short Circuit の中に新しい Study Case のフォルダが作成されます。

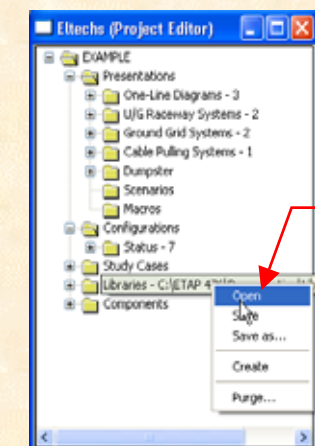
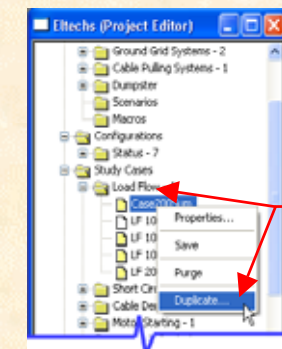
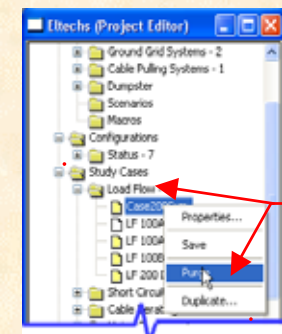
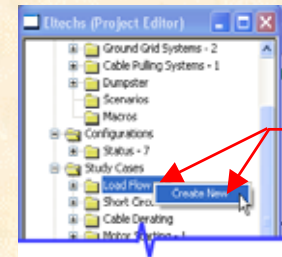
<ここで作成した Study Case 名が、各計算プログラムの Study Case 窓に表示され、各計算プログラムを実行する時にこの窓から任意の Study Case を選択することができます。>

4.2 削除 “Purge” :

Load Flow, Short Circuit などのサブ・フォルダを開き、その中の Study Case のフォルダを右クリックするとプルダウン・メニューが現れます。その中の削除 “Purge” をクリックしてその Study Case を削除します。

4.3 コピー “Duplicate” :

Load Flow, Short Circuit などのサブ・フォルダを開き、その中の Study Case のフォルダを右クリックするとプルダウン・メニューが現れます。その中のコピー “Duplicate” をクリックしてその Study Case を削除します。



5 ライブラリ

5.1 ライブラリ・ファイルの変更（切換え）”Change”：

ライブラリ “Library” のフォルダを右クリックするとプルダウン・メニューが現れ、その中の “Open” をクリックすると “Warning” ダイアログ・ボックスが現れます。ライブラリ・ファイルを変更する（切換える）場合は “Yes” をクリックします。“Select Library File to Open” ダイアログ・ボックスが現れ Library File が表示されますので、この中から使用したい Library File を選択します。

<新たなライブラリを選択すると、これまで使用していたライブラリと該当するプロジェクトとの関連が切断されます。以前のライブラリにあったデータが新たなライブラリにない場合、電動機特性モデルやリンクされていたケーブルデータが失われることがあります。>

<失われたデータを回復するには、次のいずれかの方法が可能です。

1. 元のライブラリをもう一度選択する。
2. 元のライブラリ・ファイルの中の Cable, Motor Nameplates 等の各ライブラリ・データ（サブ・フォルダ毎）を新たなライブラリ・ファイルの中の該当するサブ・フォルダに併合 (Merge) する。>

5.2 作成 “Create”：

ライブラリ “Library” のフォルダを右クリックするとプルダウン・メニューが現れ、その中の “Create” をクリックすると “Name of new Library File” ダイアログ・ボックスが現れます。作成する新しい Library File 名を入力して保存します。

<新たに作成したライブラリが、今行っているプロジェクトで使用するライブラリになります。>

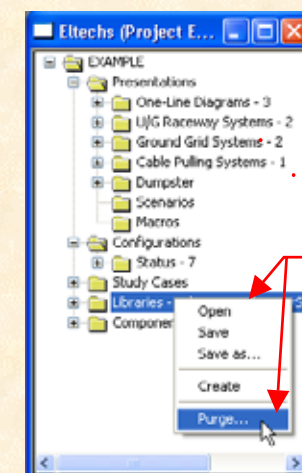
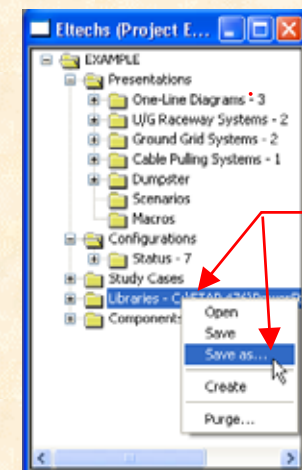
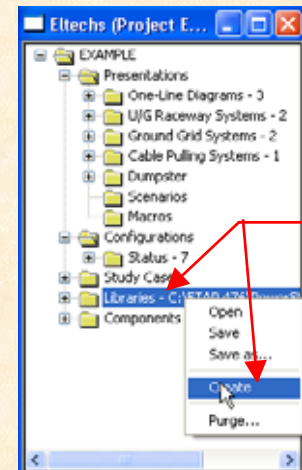
5.3 コピー “Save As”：

ライブラリ “Library” のフォルダを右クリックするとプルダウン・メニューが現れ、その中の “Save As” をクリックすると “Save As” ダイアログ・ボックスが現れます。新しい File 名を入力して保存します。

<新たにコピーしたライブラリが、今行っているプロジェクトで使用するライブラリになります。>

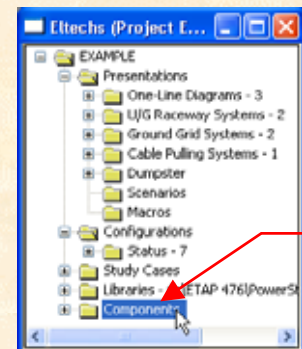
5.4 削除 “Purge”：

ライブラリ “Library” のフォルダを右クリックするとプルダウン・メニューが現れ、その中の “Purge” をクリックすると “Warning” ダイアログ・ボックスが現れます。今使用しているライブラリの全てのデータを削除したい場合は “Yes” をクリックします。



＜“Purge” をクリックする前に、このライブラリ・データが必要のないことをご確認下さい。いま実行しているプロジェクトにおいて、このライブラリにあった電動機の特性モデルやリンクされていたケーブルデータが失われることがあります。＞

ライブラリ・データの編集は、メインメニューの“Library” から Cable, Motor Nameplates 等の各々のライブラリを開いてデータの編集、追加、削除を行います。

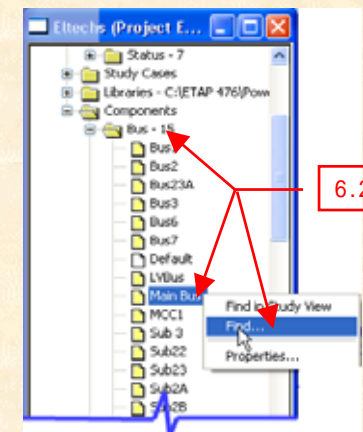


6 コンポーネント

エレメントの ID から、このエレメントが含まれているプレゼンテーションを素早く開いたり、編集したいエレメントに素早くアクセスしたい時に便利な機能です。

6.1 コンポーネントのサブ・フォルダを開く

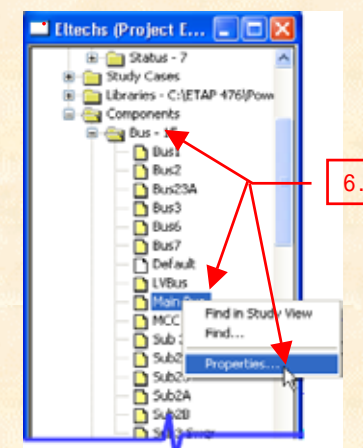
コンポーネント “Components” のフォルダをダブルクリックすると、全てのコンポーネントのサブ・フォルダがアルファベット順に表示されます。



6.2 エレメントに素早くアクセスする：

何れかのサブ・フォルダをダブルクリックすると（例えば “Bus”）、このプロジェクトに登録されている全ての Bus が表示されます。この中の何れかの Bus ID を右クリックして “Find” をクリックするとこの Bus が含まれている単線接続図が開きます。

＜単線接続図、埋設ケーブル経路等いくつかの Presentation がそのプロジェクトに登録されている時は、“Select Presentation” ダイアログ・ボックスが開きますので、必要なプレゼンテーションを選択してから “Find” をクリックして下さい。＞



6.3 エレメントを編集する：

何れかのサブ・フォルダをダブルクリックすると（例えば “Bus”）、このプロジェクトに登録されている全ての Bus が表示されます。この中の何れかの Bus ID を右クリックして “Properties” をクリックするとこの Bus のデータ入力画面（Editor 画面）が開き、この画面からデータを入力・変更することができます。

次号は、大きなシステムを入力する時に便利な、合成系統回路 “Network” についてお届けします。